

じんけんきょういく
「人権教育コラム」No.7

しゅうだんいくせい みと あ たか あ
～ 集 団 育 成 なかまと認め合い、高め合い～

じんけんきょういくぶ どうわきょういくしゅだん たにやま かつひこ
人権教育部 同和教育主担 谷山 勝彦

わたし りょうて
私 が両手をひろげても
お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように
地面を速く走れない

わたし
私 がからだをゆすっても
きれいな音は出ないけど
あの鳴る鈴は私のように
たくさんの唄は知らないよ

すず ことり わたし
鈴と、小鳥と、それから私
みんなちがって、みんないい

かねこ わたし ことり すず し よ かんが
金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」です。この詩を読むといつも考えることがあります。
まわ みわた だれひとり おな ひと す た もの しゅみ
周りを見渡すと、誰一人「まったく同じ人」はいません。好きな食べ物がちがう、趣味がちがう、
とくい にがて
得意なことや苦手なことがちがう・・・。

人はつい、自分とちがうところを見つけると、比べてしまいます。しかし、ちがいを知ることが、
あいて たちば た だいいっぱ にがて とくい だれ おきな べつ にがて
相手の立場に立つ第一歩です。苦手なことがあれば、得意な誰かが補う。そして、また別の苦手な
ばめん だれ おきな ひ び かえ ひと たが そんちよう
場面があれば、ちがう誰かが補う。こんなことが日々くり返されると、人はお互いを尊重できる
のではないのでしょうか。

しょうがっこう ちい しゃかい がっきゅう がくねん さまざま たちば こ とも
小学校は小さな社会です。学級・学年には様々な立場の子どもがいます。友だちとのちがいや
もちあじを知り、認め合うことができるよう、しおくさたて しょうがっこう しゅうだんいくせい じんけんきょういく
塩草立葉小学校では、「集団育成」を人権教育の
はしら ひと ふだん じゅぎょう きゅうしよく やす じかん ばめん とも こうりゅう
柱の一つにしています。普段の授業や給食、そうじ、休み時間などの場面で、友だちと交流・
きょうりよく ばめん いとてき た じどうしゅうかい かつどう おこな
協力できる場面を意図的に作り出しています。また、児童集会では「たてわり活動」を行っ
ています。がくねん こ した がくねん こ ところ うえ
学年を超えたつながりをつくることで、下の学年の子どもには「あこがれの心」を、上
の学年の子どもには「いつくしみの心」を育てています。

まち で さまざま たちば かた おな しゃかい く か すす じだい
街に出ると、様々な立場の方が同じ社会で暮らしています。グローバル化がさらに進む時代だからこそ、
たしや かんよう しゃかい にな て しおくさたて しょうがっこう こ たち そだ
他者に寛容な社会でありたい。そしてその担い手として塩草立葉小学校の子ども達が育つ
よう、取り組んでまいります。

こんご じんけんきょういく と く
【今後の人権教育の取り組み】

- くるま たいけん ねん がつ にち か
・ 車いす体験（4年 1月28日（火））
- なんば しえん がっこうさくひんでんけんがく ねん がつ にち もく ねん がつ か きん
・ 難波支援学校作品展見学（2年 2月13日（木）、4年 2月14日（金））
- たいけん ねん がつ にち か
・ アイマスク体験（5年 2月18日（火））